

Introduction

～ まちの人紹介 ～



雄武町地域おこし協力隊（地域支援員）

チャン・レ・フウン・タオ さん

「タオと呼んでください」と笑顔で答えてくれたのは、4月から町の地域おこし協力隊として雄武町観光協会に務めるチャン・レ・フオン・タオさん。

タオさんは、雄武町から直線距離で約5000km離れたベトナムのウンタウ出身。人口20万人ほどの海がある町で育ち「雄武町は母国と同じく海があるので親しみを感じます」と雄武町の印象を話します。

「子どものころからアニメや漫画など、日本の文化に触れてきました」「大学では日本語を選択して学び、旅行でも家族と日本に訪れました」と親日家のタオさん。日本へは転職を機に昨年3月に来日し、富山県で1年間過ごしました。地域おこし協力隊を目指した

きっかけは、タオさんがチャレンジしてみたいと思い描いていた観光などの仕事と合致したことでした。観光協会での業務は、お祭り・フォトコンテストなどの各種イベントの企画・運営、ウェブサイトやSNSによる情報発信などを行っています。

母国語だけでなく日本語、英語を話せるタオさんは「日本語のほか多言語で外国人向けにも情報発信をしていきたいです。ベトナム人は写真映える風景などが好きなので、雄武町の素敵な景色を知ってもらえれば町を訪れてくれる観光客もいると思います」「先日、研修で近隣市町村の地域おこし協力隊の方と話す機会があり、連携して雄武町とオホーツク管内をアピールしていけるよう頑張っていきます」と今後の活動に対して力強く話してくれました。

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生き、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生き、住みよい環境をつくりま
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくりま
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくりま
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくりま
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となりま

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼仕事以外で外出することが少なく家で過ごすことが多くなってきました。SNSでは「STAY HOME（家で過ごそう）」と題して家での過ごし方を紹介してる人が多くいます。私はGWはSNSを参考に筋トレをしてみたいと思います。家で過ごすことが多くなるとは思いますがぜひ参考に（大辻）

▼新型コロナウイルス対策として、地域元気応援券が皆さんのお手元にも届いていると思います。食べるのが大好きな私としては、雄武町内のいろいろなおいしいグルメが、テイクアウトで堪能できるので、1日を使い切ってしまうそうです。（結城）